

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス unico大分		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 19日	～	令和8年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数) 18名
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 19日	～	令和8年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童主体の活動を行っており、内から湧き上がる「楽しい」「知りたい」「おもしろい」といった内発的動機付けを引き起こし、さまざまな場面に自ら適応できる育つ力を高めている。内発的動機付けを高めることにより、自分で考えて行動が出来る児童が増えている。	・活動を利用児童が自由に選択できるようにしている。 ・色々な経験ができるように得意な事や苦手な事を織り交ぜながら行うように工夫している。 ・普段関わりが少ない児童とも関わりが持てるような活動を取り入れている。	・メリハリができるように静と動の活動を工夫しながら取り組んでいきたい。 ・興味や経験した方がよい事等を職員間で検討し、選択してもらいながら楽しく活動参加できるようにする。
2	・独自のワークショップを作成し、毎日違う活動を行っている。土曜・祝日・長期休みでは遠方への外出なども実施している。	・家庭ではなかなか出来ない、特別な体験をワークショップに取り入れている。 ・個別以外でも全体で行い、達成感が持てるような活動を行えるようにしている。	・児童が興味を持てるような活動内容を増やしていく必要がある。
3	・ブレイルームを広く使えるように環境調整している。明るく、開放的な雰囲気作りを行っている。	・ブレイルームを広く使えるように環境調整を行っている。また、清潔に使えるように毎日掃除、消毒を行っている。	・経年劣化している部分もあるので、その都度補正を行っていく必要がある。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・学習室、個別学習室が吹き抜けになっている。	・声や音が入ってきてしまい集中できない。	・周囲の児童にボリュームを落としてもらうように配慮してもらう必要がある。
2	・駐車場の交通量が多い。	・敷地内に別店舗があり、交通量が多い。	・可能な範囲で施設前に停車し乗降を行う。駐車場内を移動する際には職員付き添いの元移動を行う。
3	・ブレイルームを確保する為に物品をスタッフルームや倉庫に片付けており、使う際には職員に出してもらわないといけない。	・職員にお願いをして出してもらわないといけない。	・環境整備を行い、危険物以外は自由に使える環境を作る。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスunico大分				公表日	令和8年2月20日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	・宿題を行う場所と遊ぶ場所を適宜分けている		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2		・トイレの鍵は改善が必要と感じる ・死角になる部分がある	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・掃除の時間を設けている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	・朝礼の時間や会議などで話し合い、情報共有を行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・送迎時やその都度保護者の意向を確認		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2		・第三者ではないがunico本部から外部評価を行ってもらう。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・児童発達支援管理責任者を中心に話し合いを行い、作成している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	・児童発達支援管理責任者を中心に話し合いを行い、作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・都度話し合いを行い、情報共有している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・独自のWSを作成している。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・毎日WSを変更しながら活動を行っている。 児童がやってみようことを取り入れている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・WSの活動で分けている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・毎日のミーティングで話し合い、支援中にも情報共有を行い連携をしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	・支援中や時間があれば支援後に行っているが、当日に出来ない場合は翌朝のミーティングで振り返りを行う。	・当日に時間を作れるように工夫する必要がある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・記録を当日に行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	・定期的に見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	・組み合わせを考えている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	・活動の参加などを児童に決めてもらっている。	・やる事を視覚化できるようにホワイトボードを用いて自分のスケジュールをたてたりすることがある。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・児童発達支援管理責任者が中心に行っているが、参加できない時には別のスタッフが参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	3	・学校のみ実施できている。協力医療機関はあるが、連携して支援を行うことはできない。	・地域との繋がりを作れるようにスタッフが定期的に連絡をしていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	2	・学校との情報共有が不十分ことがある。	・下校時間の変更等がないかを定期的に確認していく必要がある。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2	・来年度入学児童とは保育園、幼稚園と情報共有できている。 ・児童発達支援からの共有はある。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	5	利用者で該当なし。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	5		・連携を図れるように工夫したい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	・公園などでは地域のこどもと活動できている。	・WSなどを周辺地域に周知し、地域との交流を図れるような機会を設けたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	6		・参加の検討をする。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・送迎時や電話などで、その都度情報共有している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4		・家族が気軽に参加できるような父母会などを検討。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1	・契約時に説明を行っている。	・説明が不十分で理解できていないことがあるので、より分かりやすく簡潔に説明をしていく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	送迎時や電話などで、その都度助言などを行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	0	6		・父母会などを行えるように検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	3	・利用している家庭にはSNSを通して活動を写真付きで発信している。	・外部にも発信できるような環境を検討している。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6		・WSを行う際に周辺地域住民も参加できるような企画を検討。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	・調理などを行う際には食材を変えたりしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0			